

魔法少女の



倒し方

わたし
桃栗くるみ!



勉強がちよっぴり苦手な
普通の〇学生!

突然現れた
夢の妖精
プー太郎に
お願いされて



な
なんと!



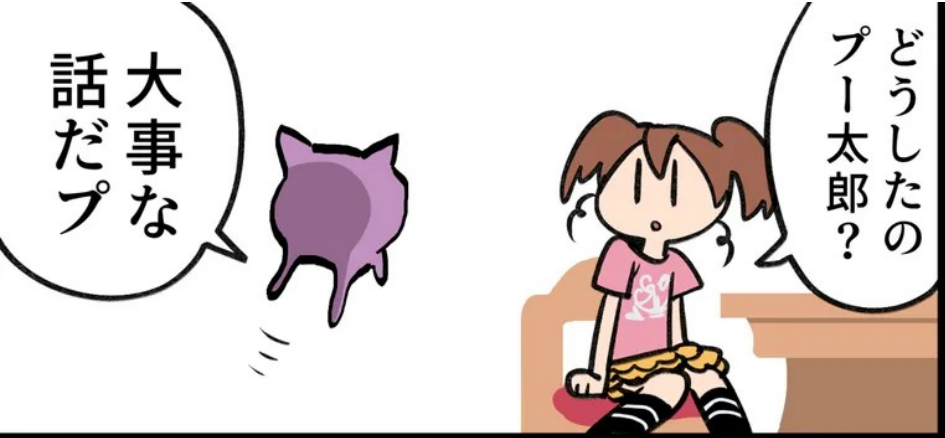
町の平和を守る
正義の使者
クリーミーピーチとして



悪の軍団デロロンと
戦うことになっちゃった!

わたしの生活
これから一体
どうなっちゃうの〜!?





大事な
話だプ

どうしたの
プー太郎？



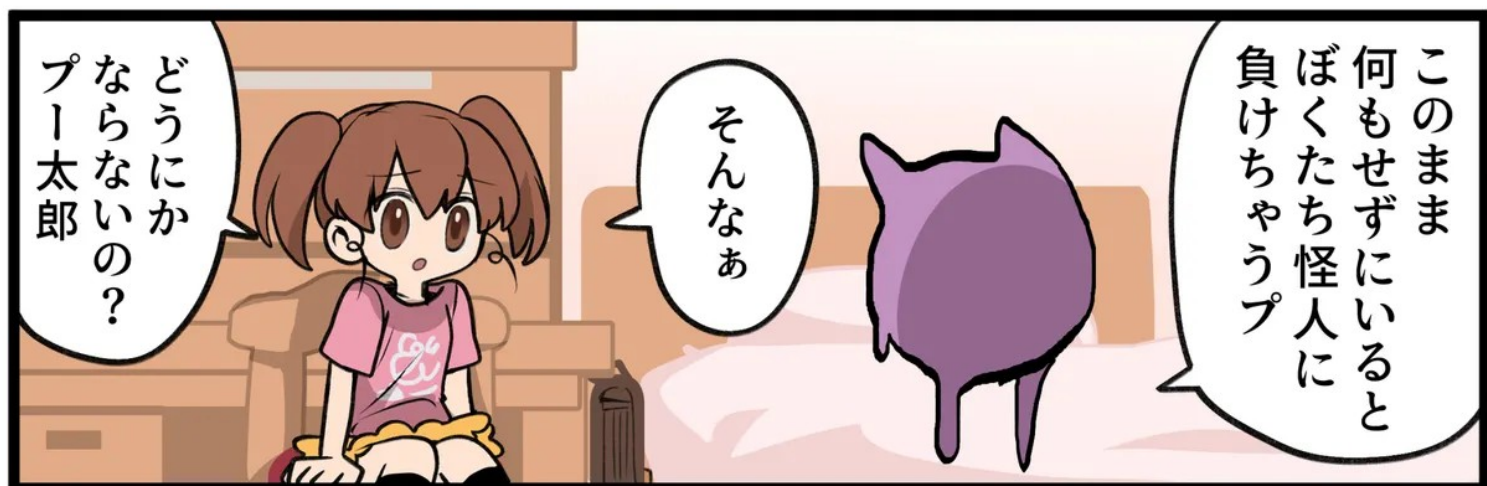
くるみちゃん
ちよっと
いいプ？



うん
うん
なんとなくは

怪人たちが
だんだん
強くなって
いる事に…

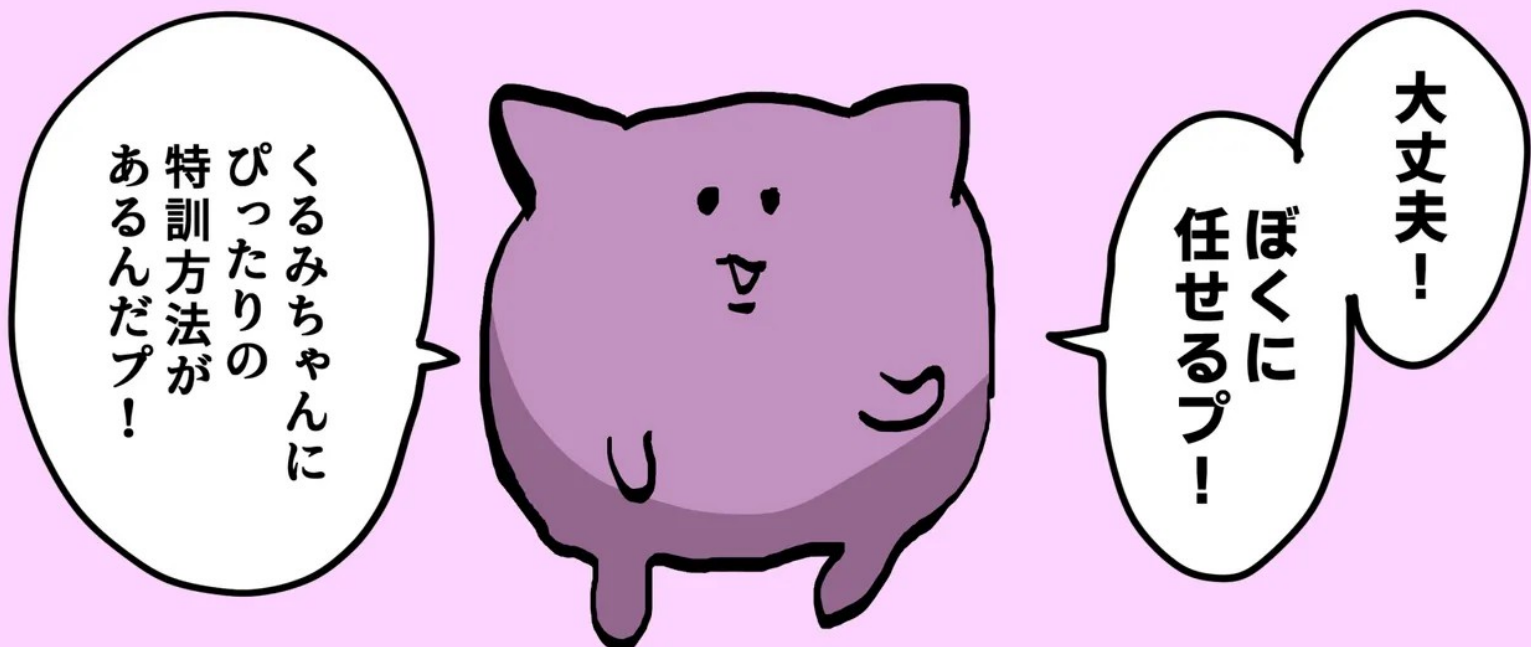
くるみちゃんは
気付いてるプ？



どうにか
ならないの？
プー太郎

そんなあ

このまま
何もせずにいると
ぼくたち怪人に
負けちゃうプ



くるみちゃんに
ぴったりの
特訓方法が
あるんだプ！

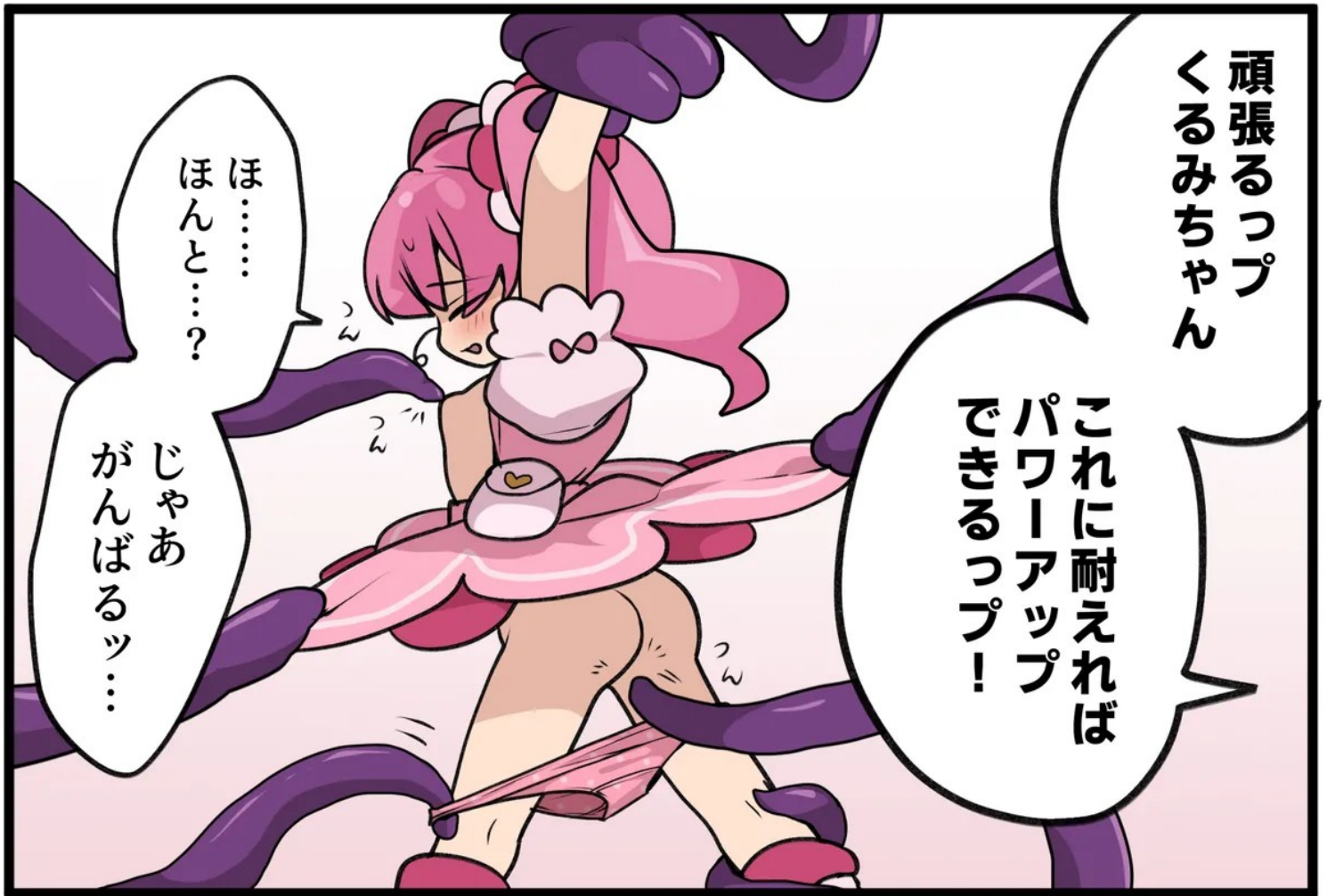
大丈夫！
ぼくに
任せるプー！

——で
その訓練って…

ほんとにコレで
合ってる？

合っぴん





頑張るっプ
くるみちゃん

これに耐えれば
パワーアップ
できるっプ!

ほ……
ほんと……?

じゃあ
がんばるッ……



あっ

あっ

プー太郎!
なんか変!

やだ

こわいよお
……!!

大丈夫
怖くないっプよ

プ

それは単に
体が気持ちよく
なってるだけだプ

パワーアップに
必要な
エネルギーを
吸収出来ている
証拠だプ

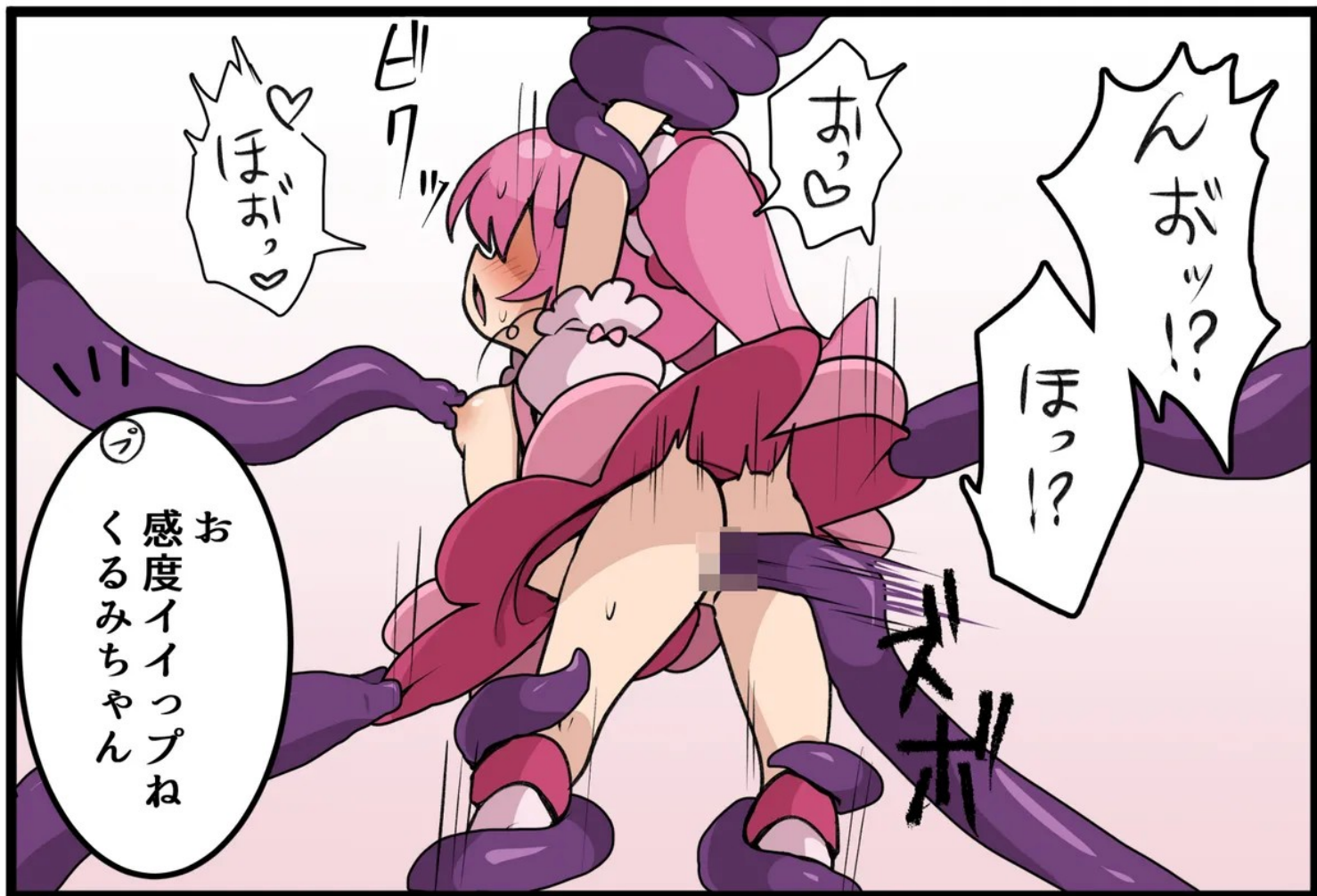
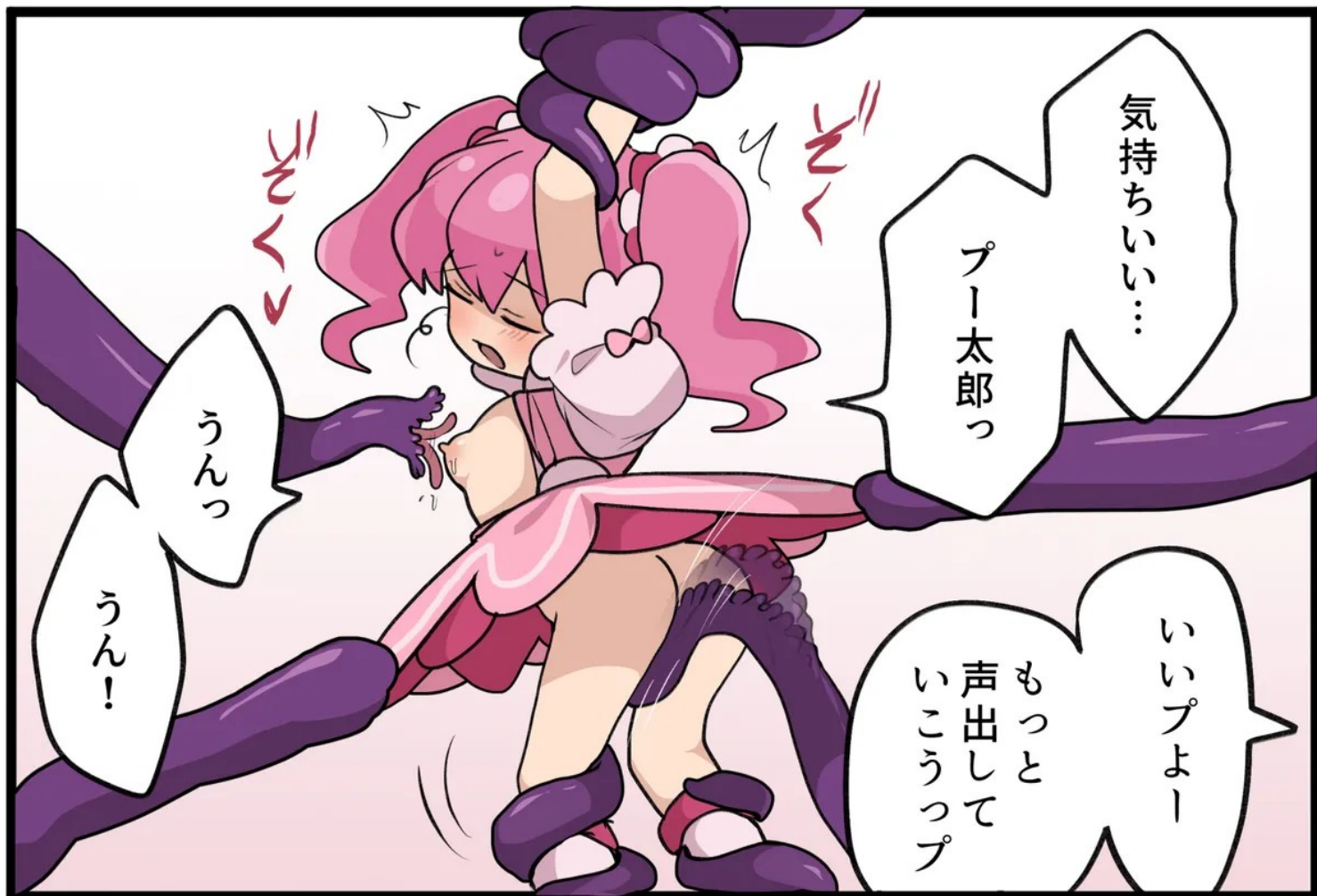
そうなの…？

そうだプー

だから
安心して
気持ちよくなつて
いいプよ

んっ
うんっ

わかった…っ



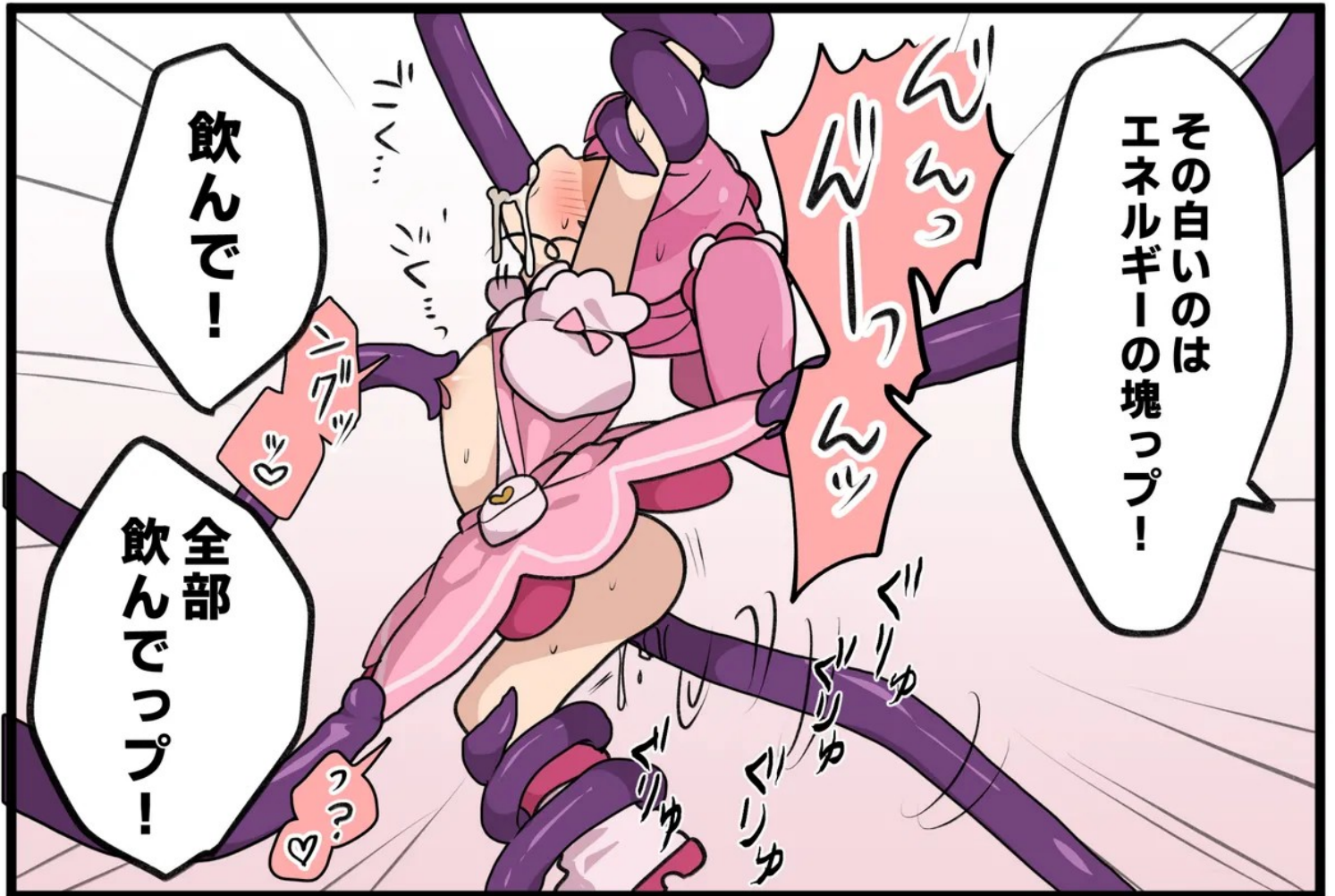
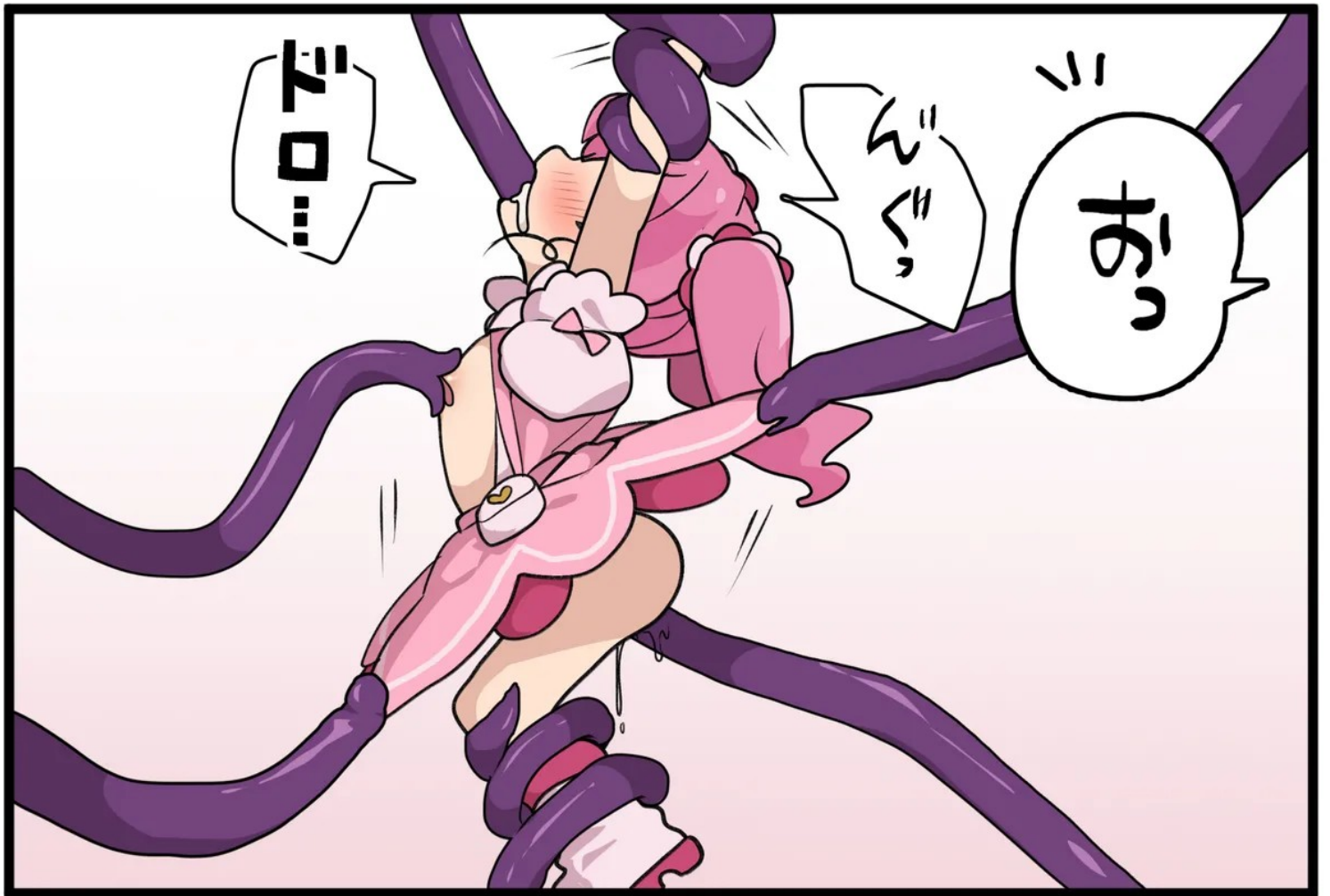


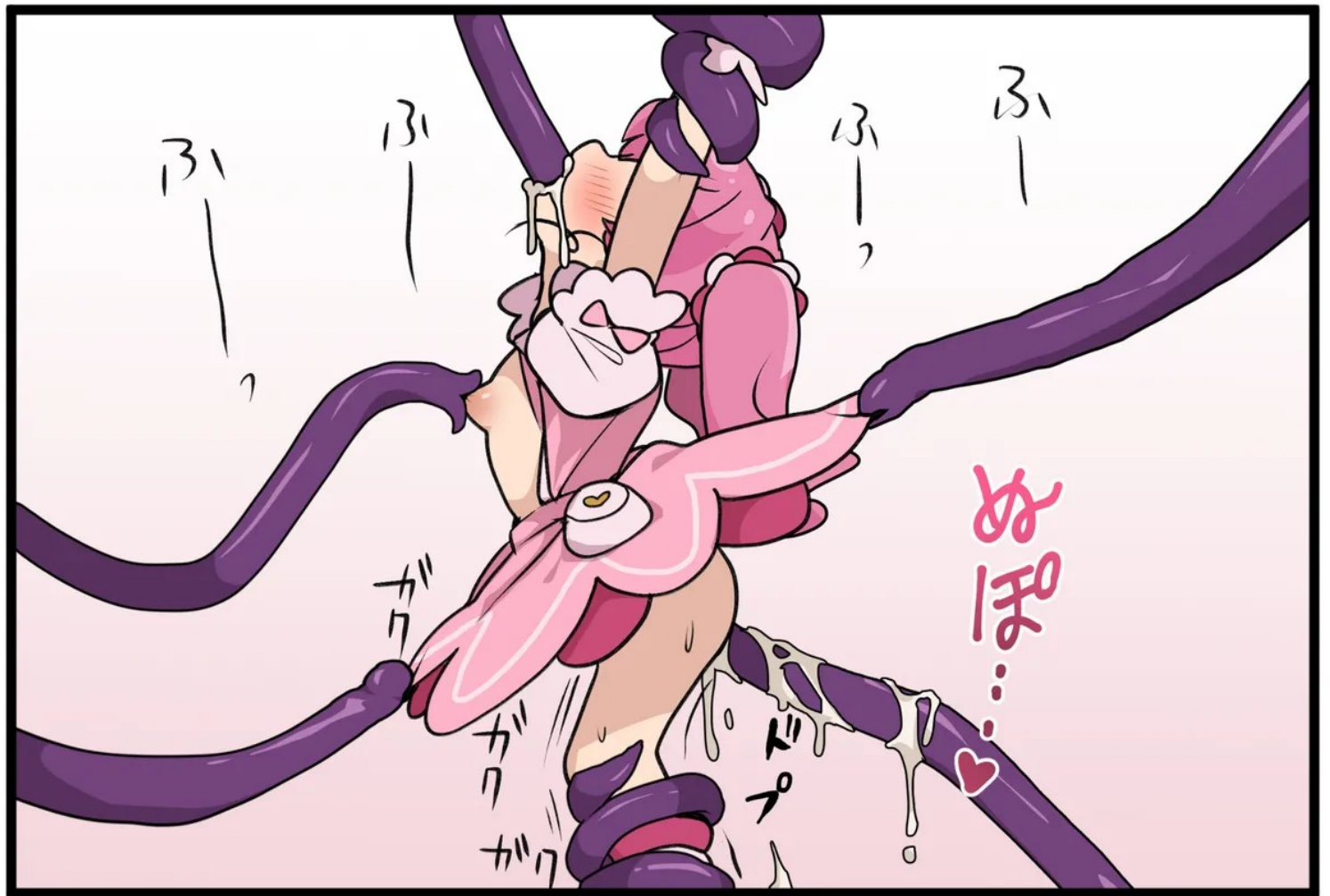
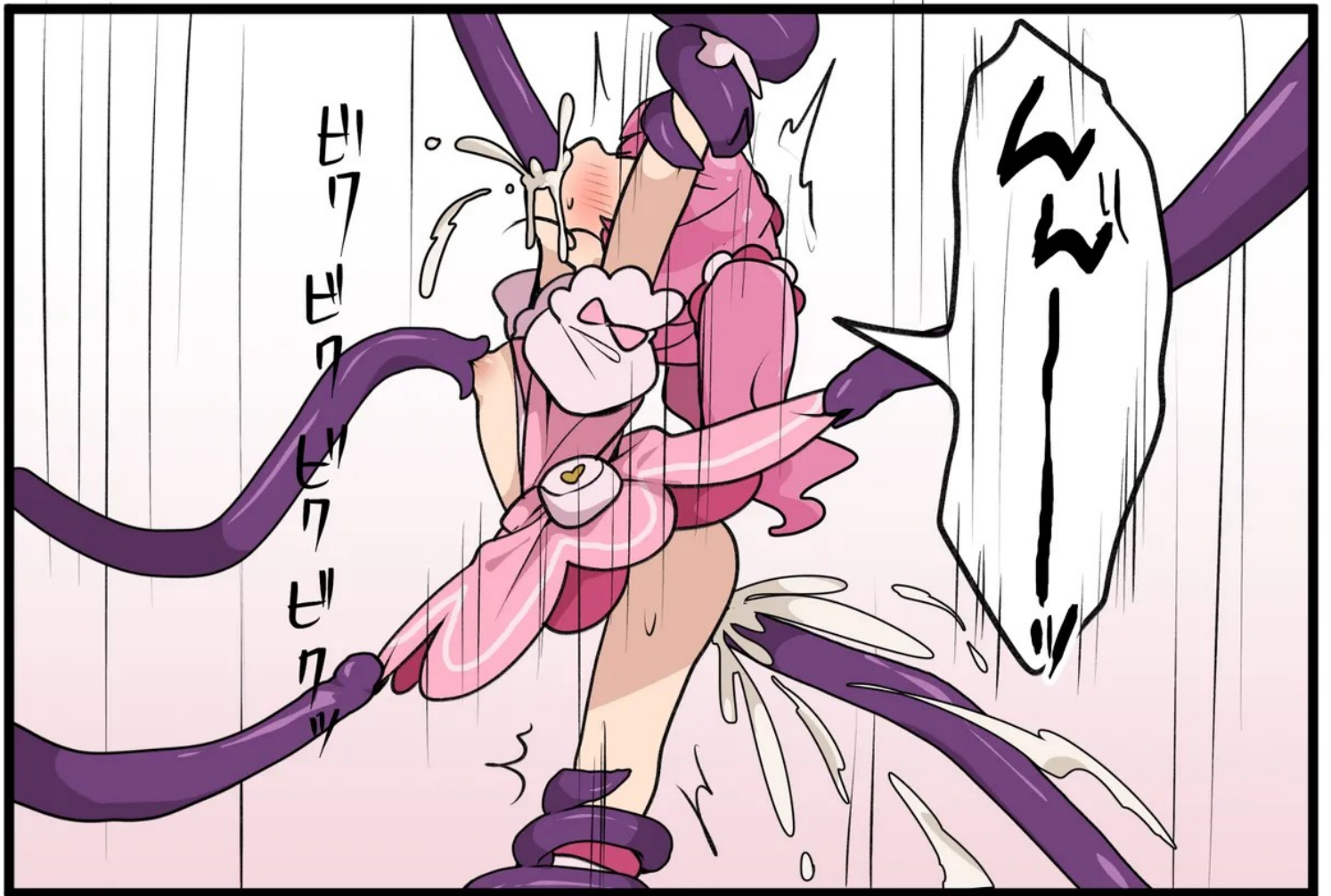
じゃ
もうひとつ
追加するっプね

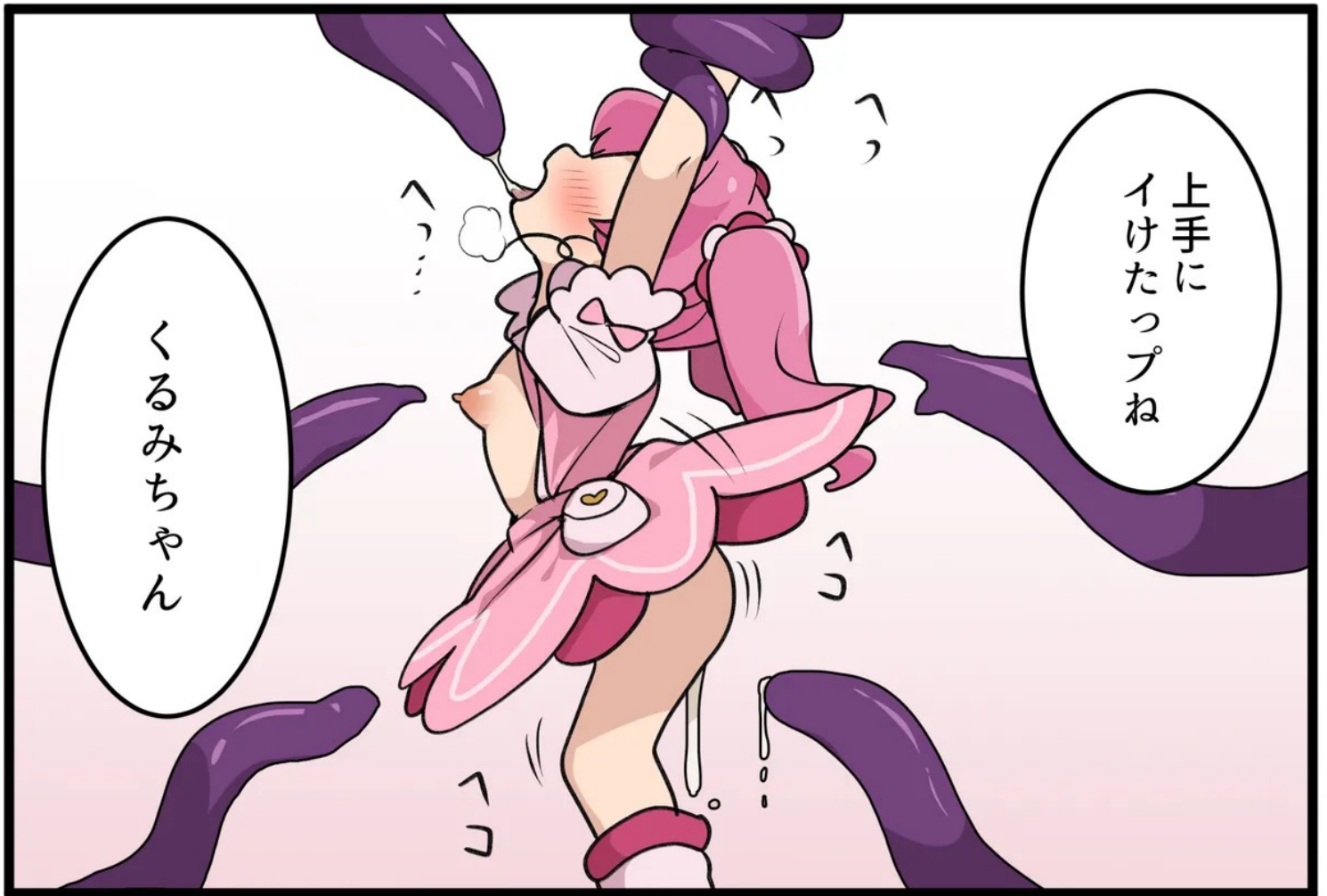


自分だけじゃなく
相手も
気持ちよくなる事で
エネルギーの
発生効率上がるっプ

歯が
当たらないように
しゃぶってあげてっプ
くるみちゃん

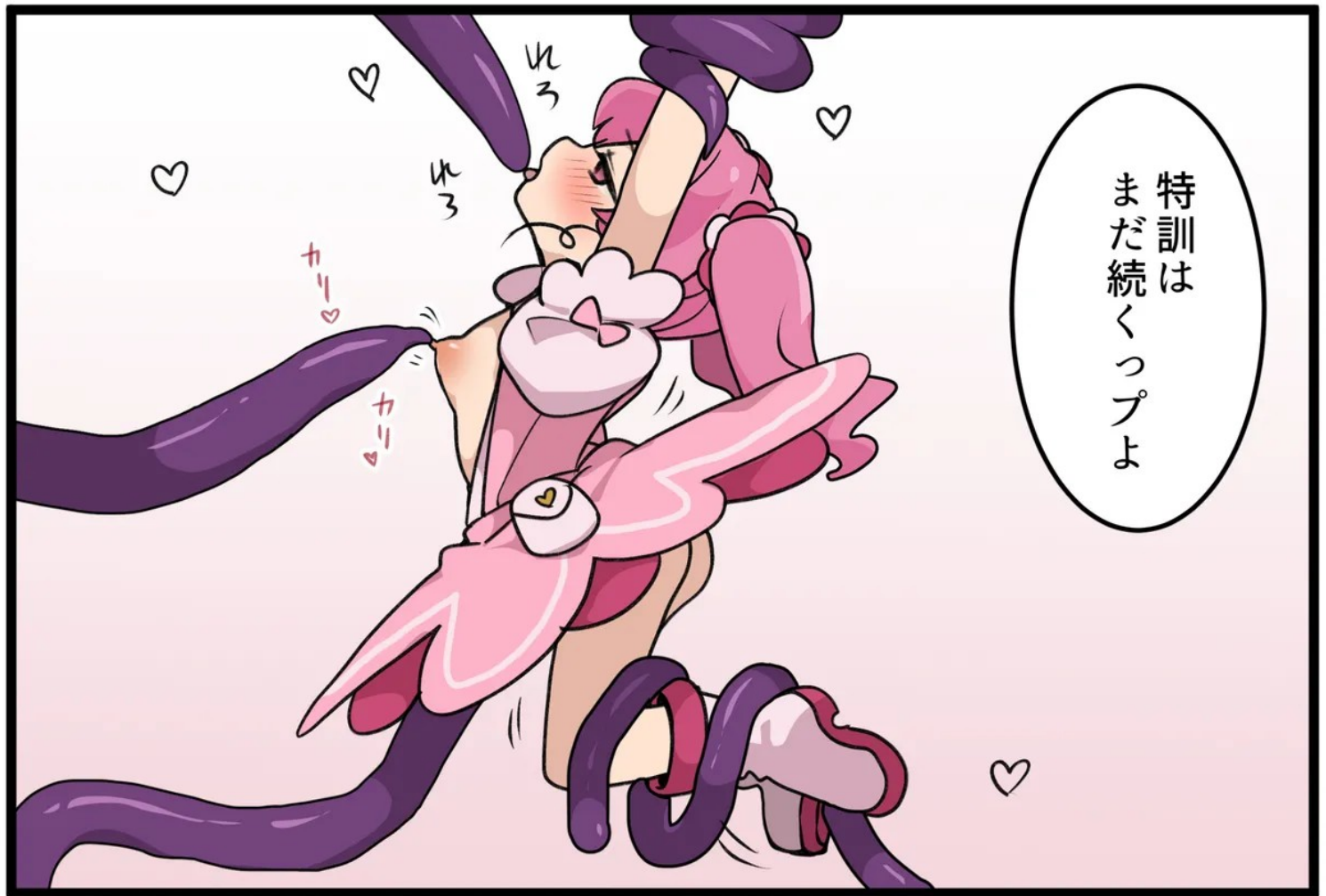






くるみちゃん

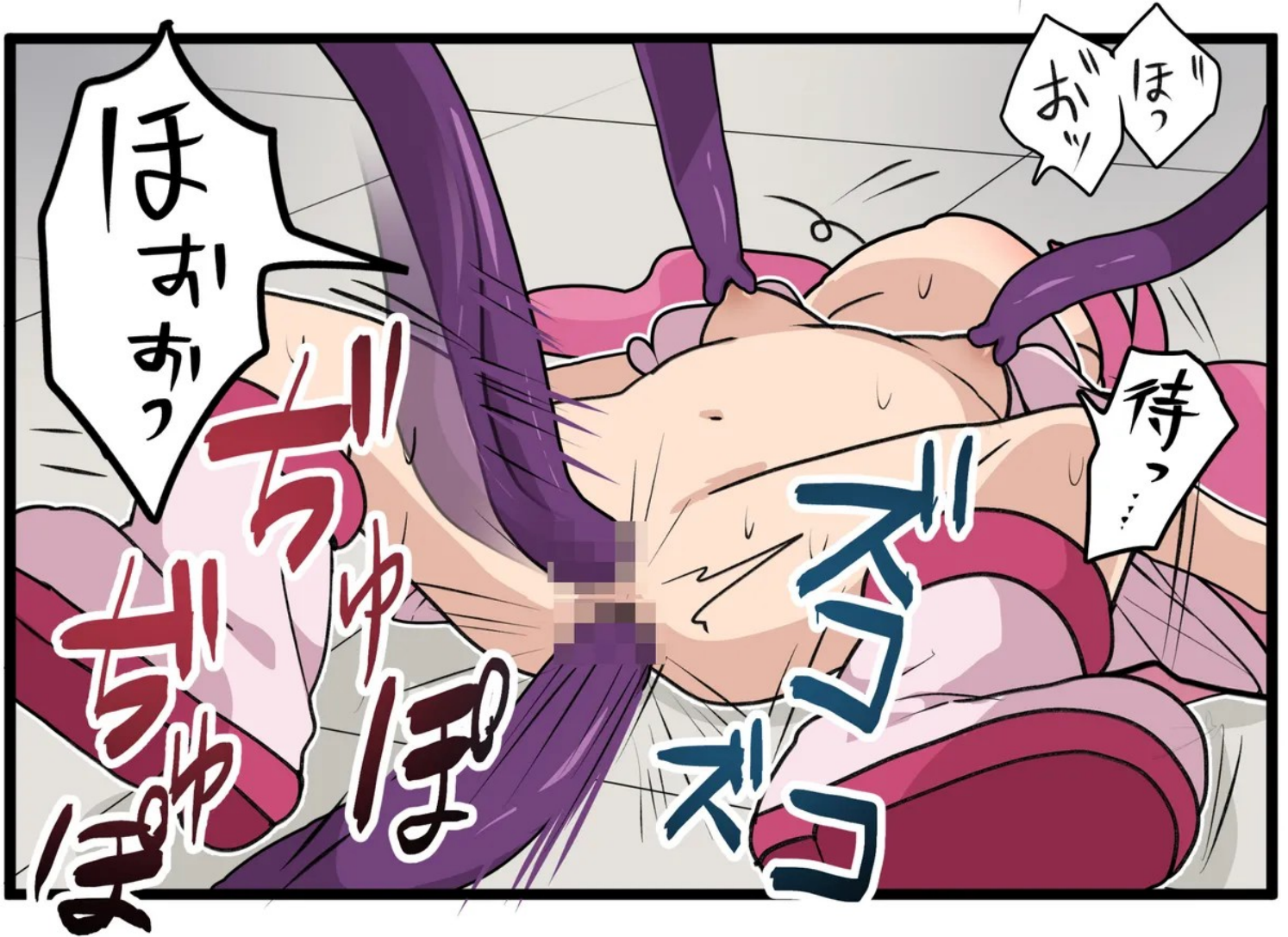
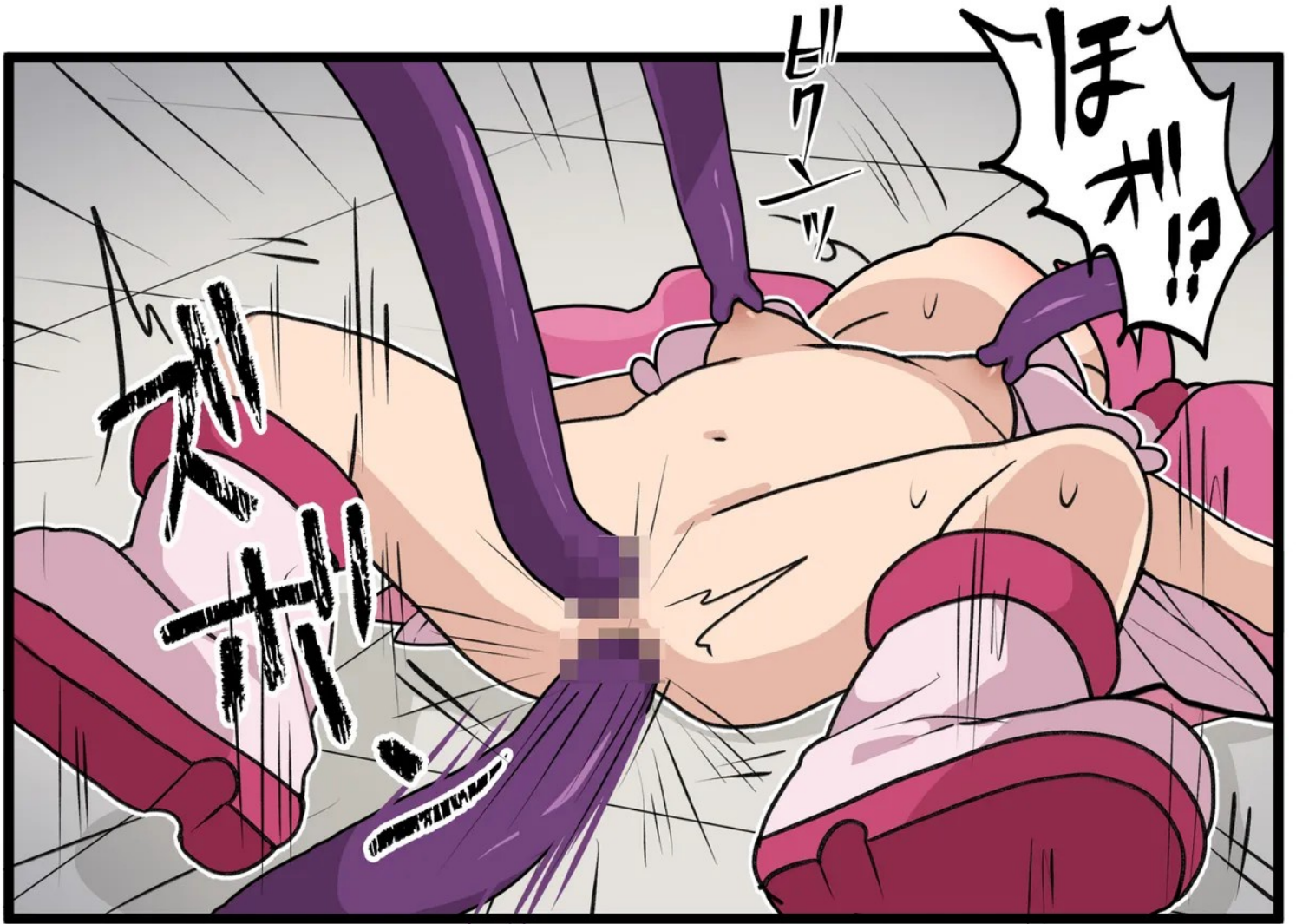
上手に
イけたっプね

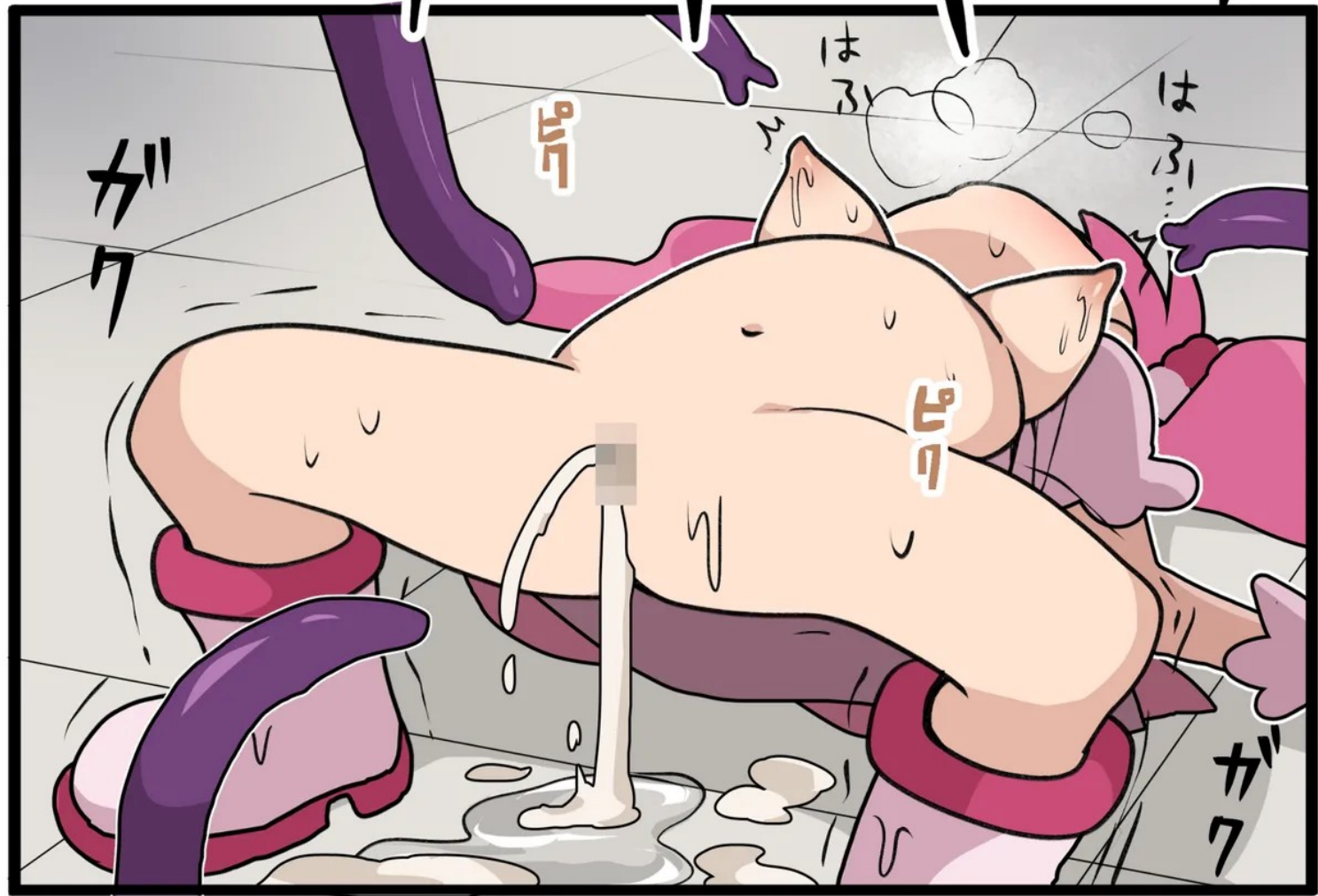
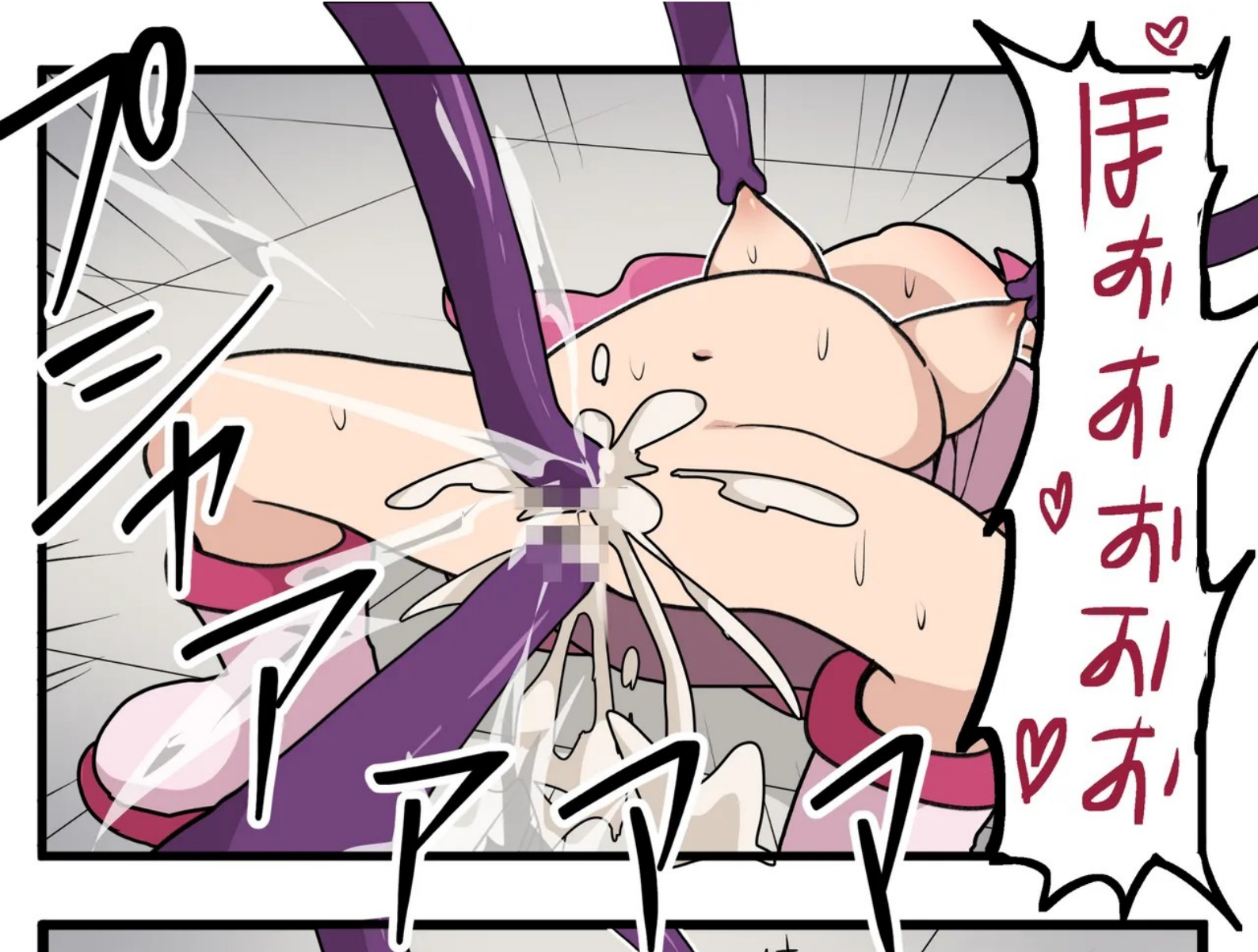


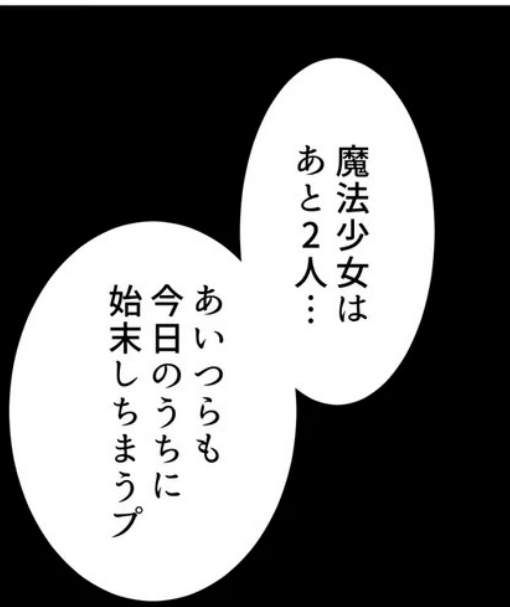
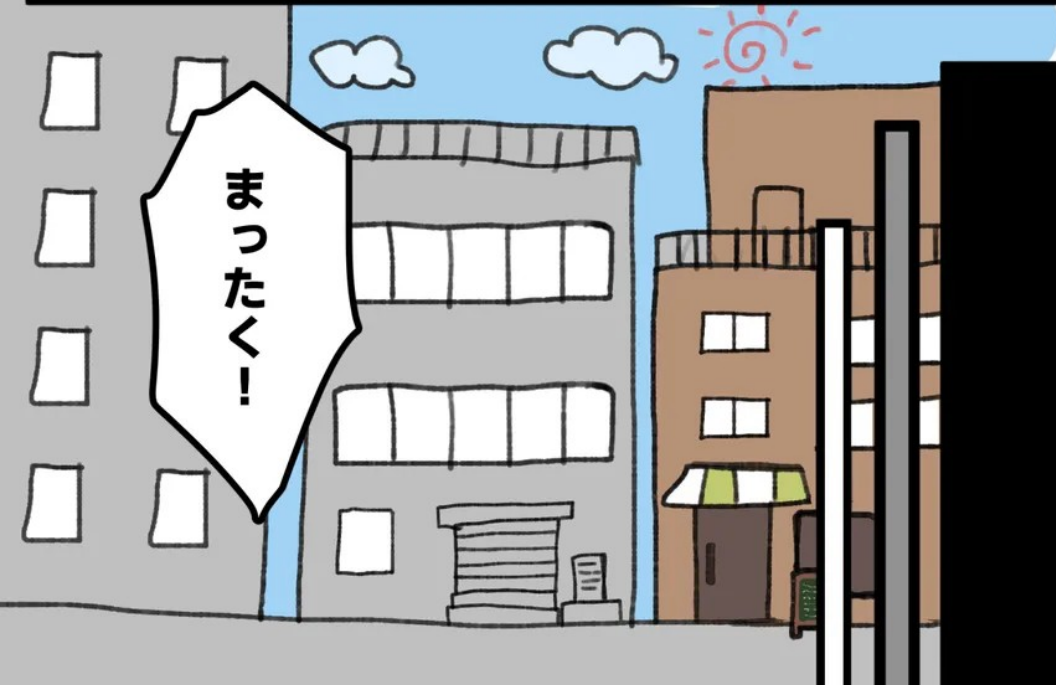
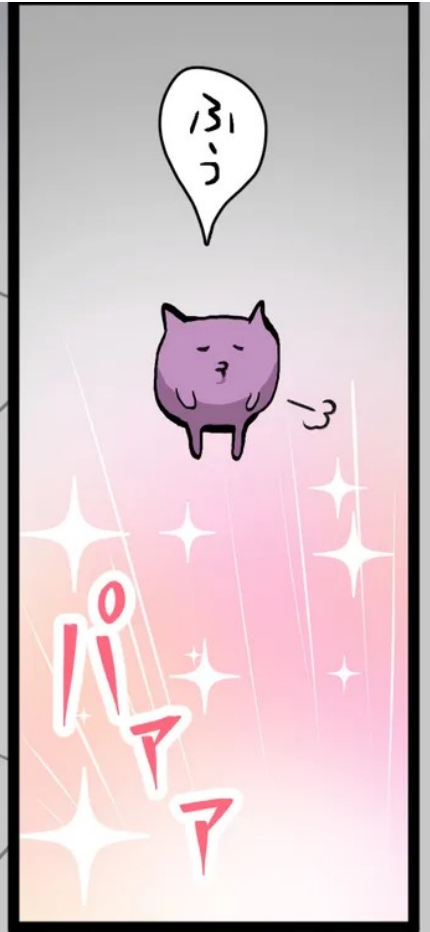
特訓は
まだ続くっプよ



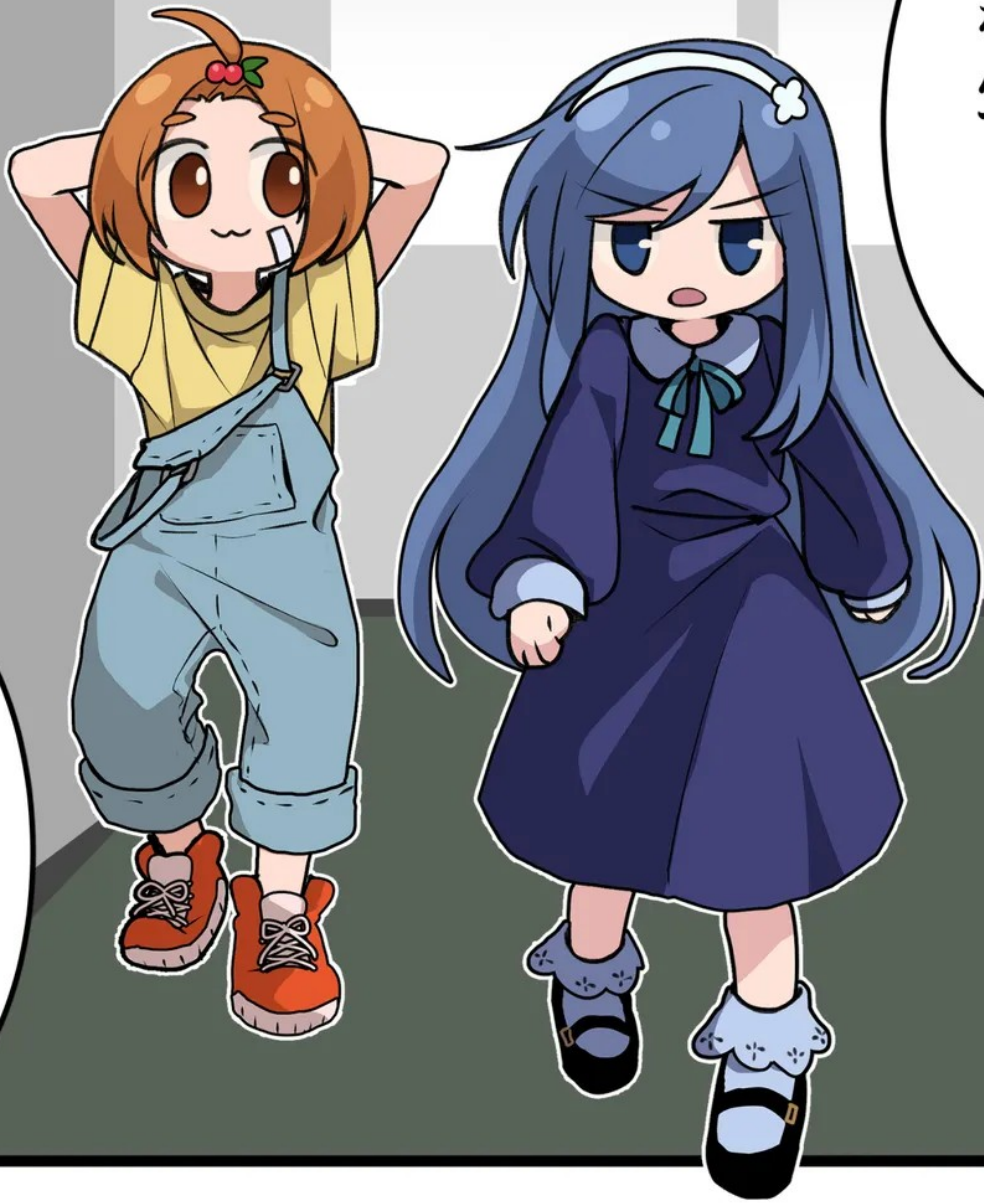








くるみだけ先に
秘密の特訓
だなんて……



抜け駆けよ
抜け駆け!

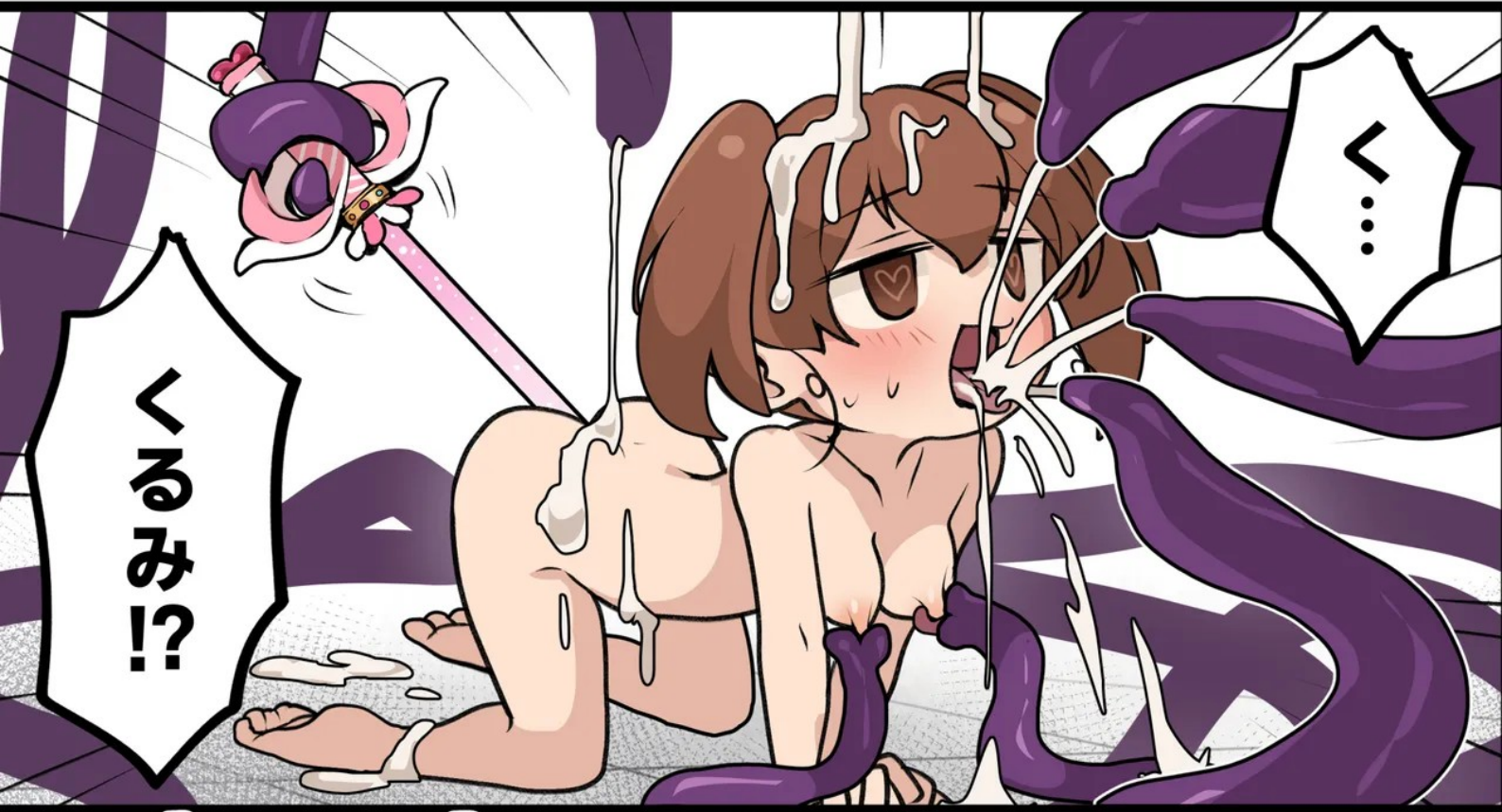
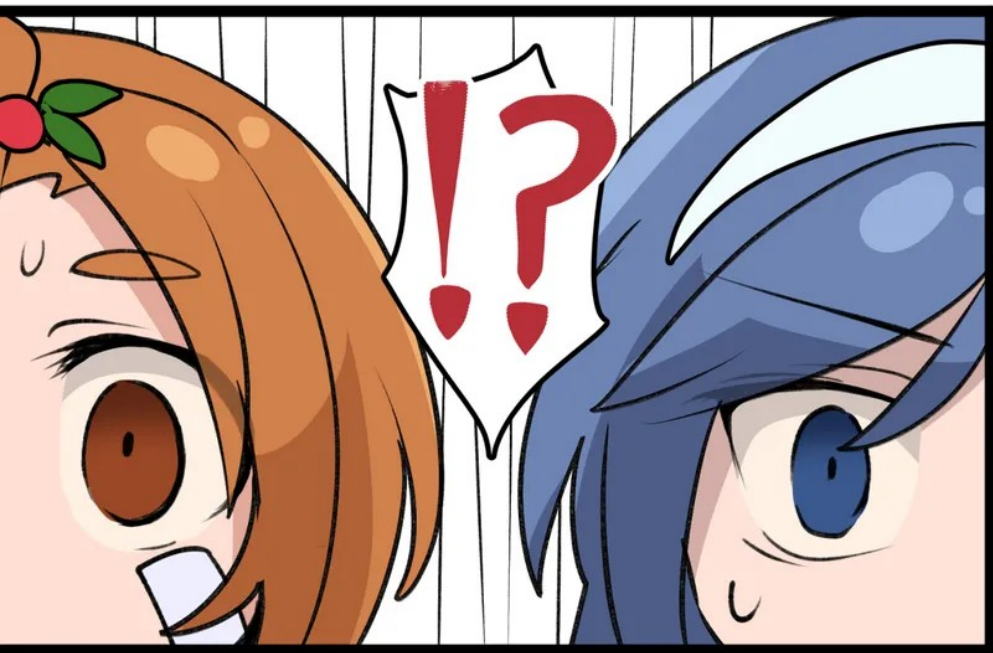
信じらんない!

特訓で何
やるんだろ〜?

楽しみ
だね〜!

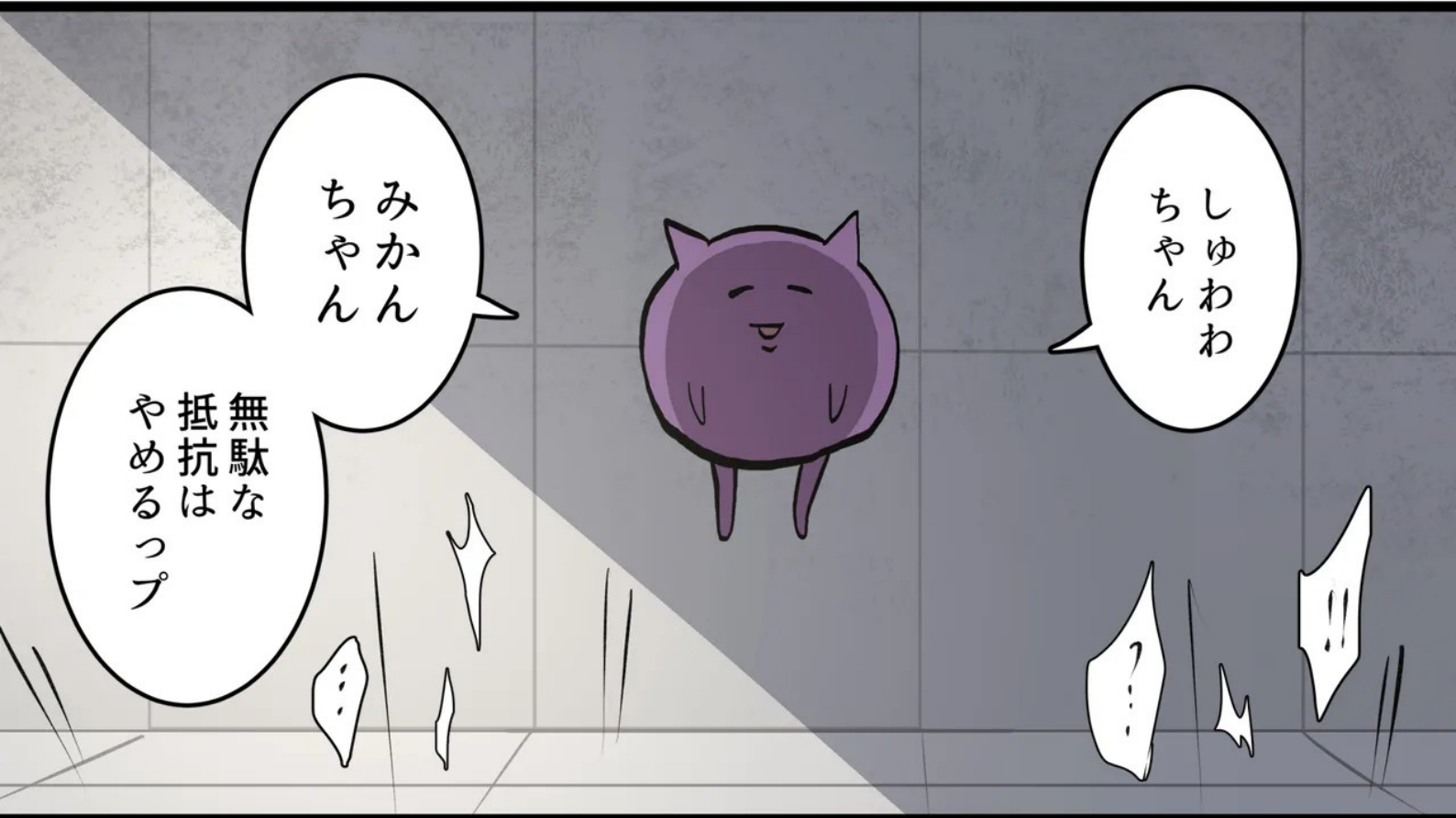
そうね……

あ
ここだわ





いらっしやい
2人共



みかん
ちゃん

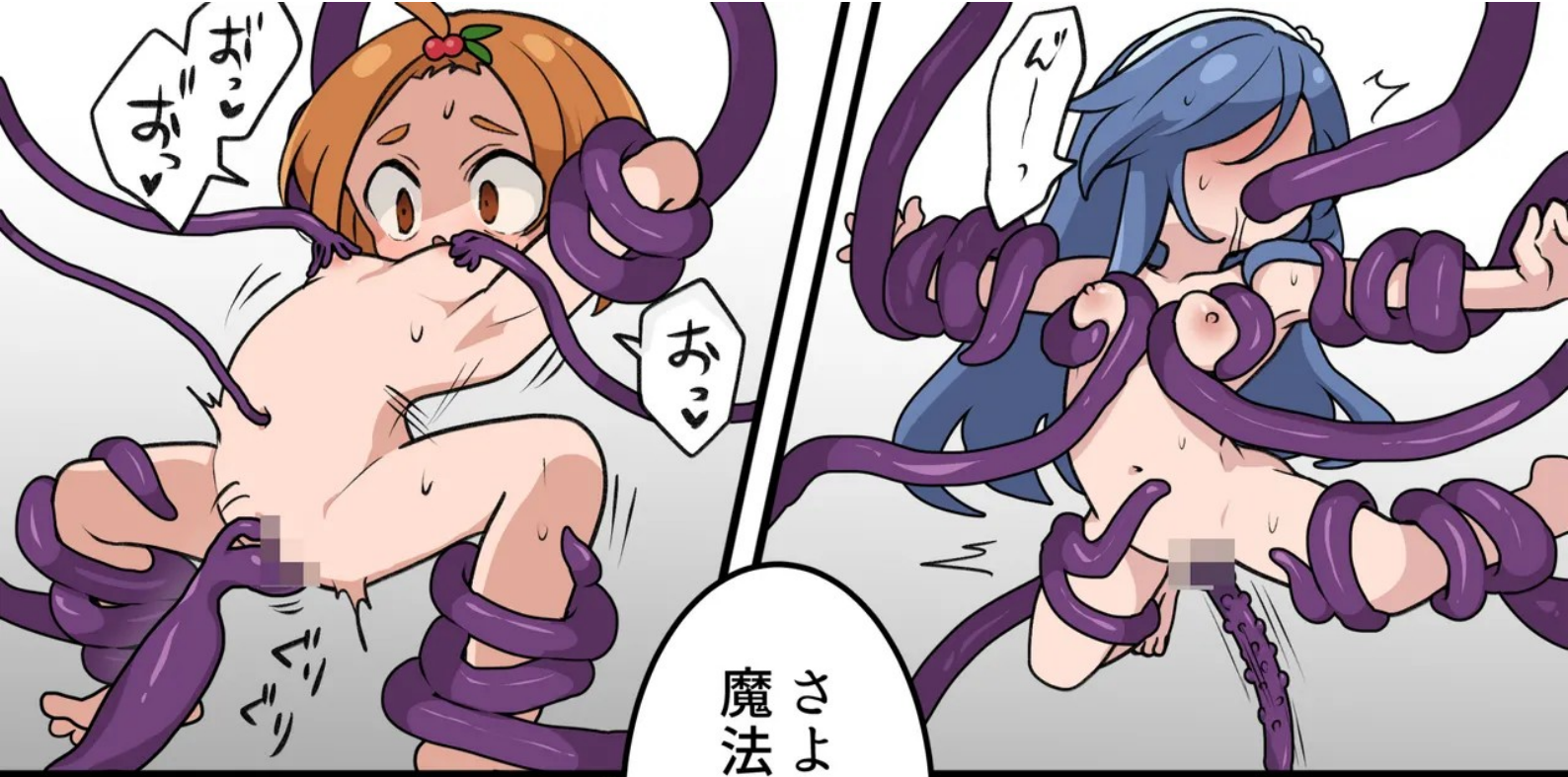
しゅわわ
ちゃん

無駄な
抵抗は
やめるっ
プ



性欲に溺れた
魔法少女は

もう
魔法の力は
使えないっ
プ



さようなら
魔法少女



もう会う事も
無いだろう